

港区立図書館（三田図書館・高
輪図書館・高輪図書館分室・港
南図書館・台場図書館）
指定管理者候補者選考委員会
報 告 書

令和5年7月6日

港区立図書館指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	2
II	選考経過について	3
III	選考対象者について	5
IV	選考結果について	6
V	最終選考結果について	8

はじめに

本報告書は、港区立図書館（三田図書館・高輪図書館・高輪図書館分室・港南図書館・台場図書館）の指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立図書館指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立図書館指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、図書館の設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立図書館（三田図書館・高輪図書館・高輪図書館分室・港南図書館・台場図書館）指定管理者候補者への応募は、1事業者のみであったため、複数の事業者からの提案を比較できないことから評価は難しい面もありました。しかしながら、当該応募事業者からのいずれの提案も現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた大変優れた提案であったため、指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと大変喜ばしく感じています。

応募いただいた事業者には深く感謝するとともに、選ばれた事業者には、港区立図書館条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待します。

令和5年7月6日

港区立図書館指定管理者候補者選考委員会
委員長 松本 直樹

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

【共同事業者名】TRC・大星ビル管理共同事業体

代表団体	名 称：株式会社図書館流通センター 代表者：代表取締役 谷一 文子 所在地：東京都文京区大塚三丁目1番1号
構成団体	名 称：大星ビル管理株式会社 代表者：代表取締役 寺島 剛紀 所在地：東京都文京区小石川四丁目22番2号

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立三田図書館	東京都港区芝五丁目36番4号 札の辻スクエア内
港区立高輪図書館	東京都港区高輪一丁目16番25号 高輪コミュニティーぷらざ内
港区立高輪図書館分室	東京都港区高輪一丁目4番35号 高輪子ども中高生プラザ内
港区立港南図書館	東京都港区港南三丁目3番17号 シティハイツ港南内
港区立台場図書館	東京都港区台場一丁目5番1号 台場コミュニティーぷらざ内

3 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年）

4 選考の理由

- (1) 全国で多くの図書館運営の実績があり、特別区でも61館の運営実績があることから豊富な経験と企業として蓄積されたノウハウを十分に活用できます。
- (2) 司書の有資格率が80%と高い点、全館の館長予定者が館長経験者ということで安定したサービスの提供が期待できます。
- (3) 中央館的機能について指定管理者が担う役割を的確に把握しており、主体的に港区立図書館全体をまとめていくことが期待できます。
- (4) 地域の団体との連携について前向きな姿勢が見られ、地域との連携事業の拡充が期待できます。
- (5) 令和6年度から区民センター図書室から図書館に移行する台場図書館について、台場地域の特徴を分析した提案がされており、台場地域における生涯学習の拠点としての役割を担うことが期待できます。

Ⅱ 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者を選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた) 総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

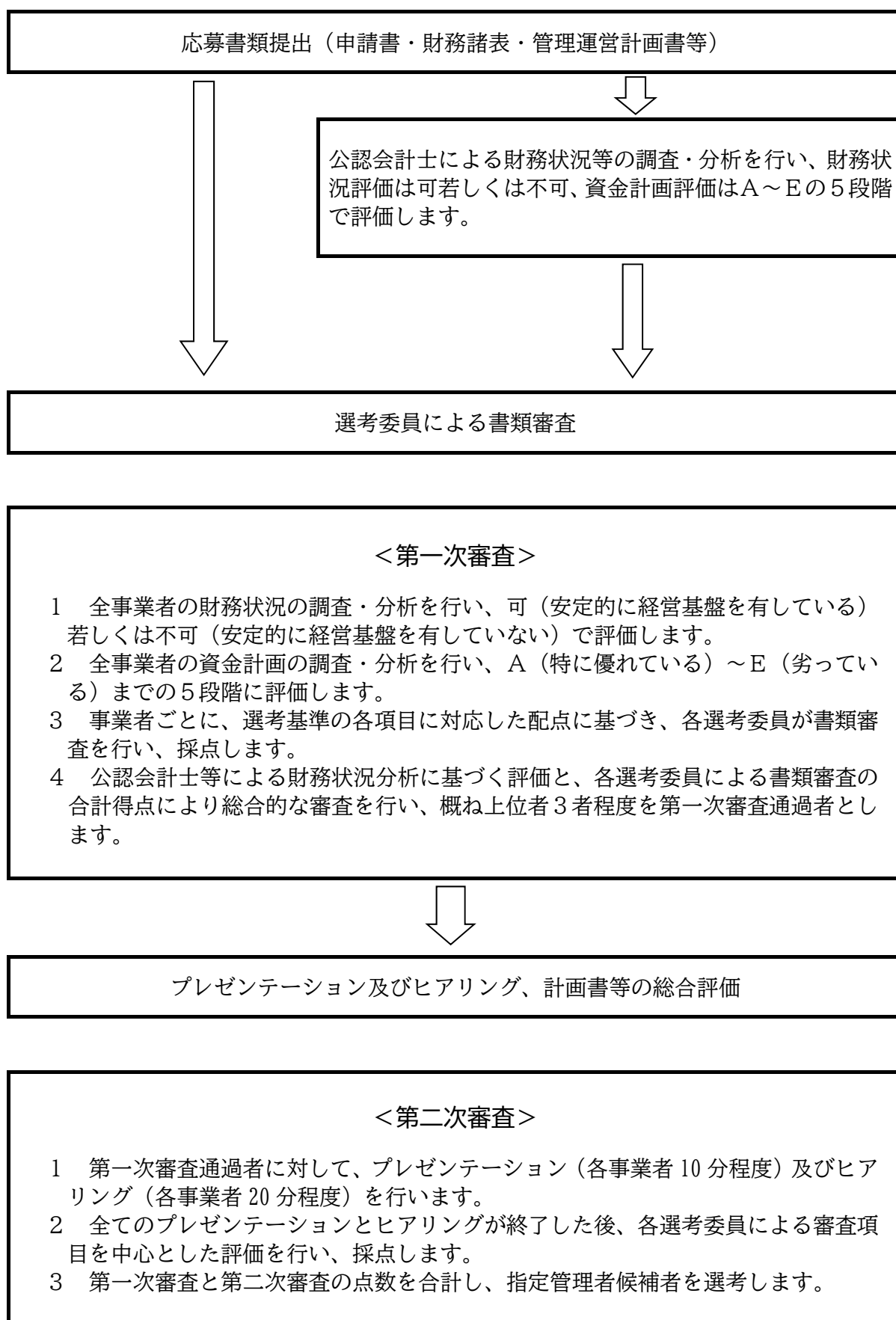
2 選考委員会の構成

委員長	松本 直樹	慶応義塾大学文学部准教授
副委員長	星川 邦昭 (令和5年3月31日まで)	港区教育委員会事務局教育推進部長
	長谷川 浩義 (令和5年4月1日から)	
委員	安形 輝	亜細亜大学国際関係学部教授
//	下山 佳那子	八洲学園大学生涯学習学部准教授
//	須賀 千絵	実践女子大学図書館学課程専任講師
//	竹村 多賀子	港区教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課長
//	篠崎 玲子	港区教育委員会事務局学校教育部教育指導担当課長

3 公認会計士

井上 大輔	株式会社港公会計
-------	----------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日 時 令和5年2月1日（水曜日） 11時～12時
場 所 港区役所 教育委員会室
議 題 委員の委嘱について
候補者の選考方法について
公募要項について
選考基準について

(2) 公募手続き

ア 公募要項説明会 令和5年2月27日（月曜日）
イ 現地見学会 2月27日（月曜日）
ウ 申請受付（第一次提出） 2月20日（月曜日）～5月19日（金曜日）
エ 質問書受付 2月28日（火曜日）～3月14日（火曜日）
オ 質問への回答 3月28日（火曜日）
カ 計画書類等受付（第二次提出） 2月20日（月曜日）～5月26日（金曜日）

(3) 第2回選考委員会（第一次審査）

日 時 令和5年6月14日（水曜日） 10時～12時
場 所 港区役所 教育委員会室
議 題 応募事業者の財務状況等について
第一次審査（書類審査）
第二次審査の方法について

(4) 第3回選考委員会（第二次審査）

日 時 令和5年7月6日（木曜日） 17時～20時45分
場 所 港区役所 研修室
議 題 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）
候補者の決定について

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	TRC・大星ビル管理共同事業体	東京都文京区大塚三丁目1番1号 株式会社図書館流通センター内

IV 選考結果について

1 第一次審査

(1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

各法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

各法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積もりの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,400 点満 点)
1	T R C ・ 大星ビル管理共同事業体	—	A	1, 0 8 3
	株式会社図書館流通センター	可		
	大星ビル管理株式会社	可		

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

(3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
--------	-------

TRC・大星ビル管理共同事業体	・ 指定管理での運営実績が多い点、司書の有資格率が多い点、研修が充実している点が評価できます。 ・ 司書の割合が 80%ということ、全館が館長経験者ということで安定した運営が期待できます。 ・ 運営管理体制に職員の無期雇用化促進を謳っている点、障害者雇用についての的確に書いてある点が評価できます。
-----------------	---

以上の点を総合的に勘案した結果、応募事業者を第一次審査通過者としました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過 1 事業者が 10 分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき 20 分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに順位付けしました。

順位	事業者の名称	総合点数 (2100 点満点)	第一次審査点数 (1400 点満点)	第二次審査点数 (700 点満点)
1	TRC・大星ビル管理共同事業体	1, 548	1, 083	465

(3) 選考経過

各委員が第一次審査通過者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
TRC・大星ビル管理共同事業体	・ 現行の図書館サービスが確実に実行されるという点で安心感があります。 ・ 体制が盤石であり、堅実な運営が確実に実行されると思います。 ・ 提案された事業はどれも具体的かつ現実的なもので、実現性が高いと感じました。 ・ 地域団体との連携について、異業種と交流したうえで新たな事業提案につなげていくという積極的な姿勢が評価で

	きます。 ・ 中央館的機能について、グループ間調整や情報伝達など、主体的に港区立図書館全体をまとめていくことが期待できます。 ・ 台場図書館については、区民センター図書室から図書館に移行し、地域住民からの期待もある中、台場地域の特徴を踏まえた提案がされており、地域の魅力向上や情報発信に期待ができます。
--	---

V 最終選考結果について

最終選考結果

選考基準に基づき、「TRC・大星ビル管理共同事業体」には、高い総合評価が与えられました。選考委員会の総意として、「TRC・大星ビル管理共同事業体」を港区立図書館（三田図書館・高輪図書館・高輪図書館分室・港南図書館・台場図書館）指定管理者候補者として選考します。